

小学校 4年 算数科

考える
表す

話す・聞く
書く

育成したい
国語力

中心点を理解するため、分からないことを押さえながら、聞き取る。内容をくрав、関連付けるとともに、理由を明らかにしながら話す、聞く。理由を明らかにし、導かれる結論を明確にして書く。

単元名

「もとの数はいくつ」

本時の目標

・3要素2段階の問題を、「順にもどして」考えることができる。
(数学的な考え方)

国語力育成の視点

児童の発言が多く、一見活発な「話し合い」のようであっても、実は、児童個々が教師に向かって自分の意見を発表するだけの「発表会」になっている場合が多く見られます。指導者は、発表する児童よりもむしろ、それを聞く側の児童の聞き取り方に注目し、個々の児童が友達の考えをどれだけ理解できているかを把握しようとする意識が必要です。
聞く力を高めるために、友達の意見を復唱することで、集中して聞く習慣が次第に育ってきます。さらに、友達の意見に対して同じか違うか、似ているのかどうかの表明、その理由、つけ足しの意見等々の発言の仕方を具体的に指導することが、つながりのある発言、コミュニケーションをする力を育てていきます。また、聞き手を意識した話す力を高めるためには、話の途中で「ここまではいいですか」など、短く区切って話すことや聞き手の反応を確かめながら話すことを指導することが有効です。聞き手を意識した話し方や、友達の考えとつながりのある発言があった場合は、それらをすぐに取り上げ、そのよさを具体的に評価することによって、話し合いへの意欲を高めることができます。こうした指導の中で考える力や表す力が育成できます。

本時の流れ

導入

問題の把握

同じねだんのえんぴつを6本買い、次に100円のボールペンを1本買うと、全部で580円でした。えんぴつ1本のねだんは何円ですか。

本時のめあての確認

絵や図にかいて考えよう

展開1

個別

自力解決

ワークシートを使って、考える。

展開2

小グループ

グループ交流

ワークシートを交換しながら、自分の考えを発表する。友達のワークシートにコメントを書いてあげる。

展開3

一斉

練習合う

グループ交流の内容をもとに、自分の考えを発表する。

練習問題を解く

まとめ

一斉

本時のまとめ

学習を振り返って文に書く。
・わかったこと
・できるようになったこと
次時の予告

視点1

「考えるための糸口」を掲示する

ただ漠然と「考えてみましょう」と言っても、どのように考えればよいのか分からない子がかなりいます。

そこで、考える時の視点を示すことが必要となります。考えるためのヒントとなる視点を、何点かカードに書いて掲示しておくのが効果的です。さらに、学習の中で子どもが発見した「考えるための糸口」となるヒントは、その都度カード書いて、掲示物に付け加えていけばよいでしょう。

子ども達は、考えに行き詰ると、自然とその掲示物に目をやるようになります。

何をたずねているのか考えよう
分かっていることは何か考えよう
絵や図に表して考えよう
簡単な数字に置き換えて考えよう
数直線にして考えよう
まず何からするか考えよう
別な言葉であらわして考えよう
似ている問題はなかったか考えよう
等々

教材等の例

問題 同じねだんのえんぴつを6本買い、次に100円のボールペンを1本買うと、全部で580円でした。えんぴつ1本のねだんは何円ですか。

ア 絵をかいて考えると

イ テープ図を使って考えると

ウ 関係図を使って考えると

友達からのコメント

児童の記述例

ア 絵をかいて

イ テープ図を使って

ウ 関係図を使って

エ

視点3

グループ交流の意義

「自力解決」と「練習合い」の間に「グループ交流」の時間をとると、次のような効果があります。少人数の方が、緊張感がなく意見交流がしやすい。全体では発表されない個々の考えが、埋もれたままにならない。練習上げのための参考になり、多様な考えが出やすくなる。

視点4

どの子にも発言の機会を

練習合いの場面では、それぞれの児童が自分の考えを発表し、友達の考えと比較して学びを深めています。しかし、すべての児童が自分の考えをもてるわけではありません。そうした児童にも表現する機会をもたせる方法として、友達の考え方を自分の言葉で説明させることが有効です。「Bさんの考え方をもう一度説明してごらん」と何人かに答えさせるのもいいし、「隣同士で、Bさんの考え方を説明し合っごらん」と全員に説明させてもいいでしょう。

視点2

ワークシートを「グループ交流」に活用することで次のような効果が期待できます。

自分の考えが書かれたワークシートを交換し合うことで、短時間でたくさんの考えに触れることができる。
見た人のコメントを書き込む欄を設けたワークシートを用意することで、簡単な意見や感想交流ができる。
友達のコメントも参考にしながら、全体の話し合いに臨むことができる。

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

国語

社会

算数
数学

理科

生活

外国語

活動別

道徳

総合的
学習